

一般質問

中村 良夫 議員

軽度者の介護保険外しは 国家的「詐欺」



〔質問〕 深刻な地域経済や子どもの貧困が重大な問題である。保護者の負担軽減を実施すべきだ。子どもの医療費助成の拡充についてはどうか。

〔教育長〕 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の子育て支援の取組みとして、さまざまな観点から将来につながるよう、その方策を検討していく。

〔質問〕 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の佐渡市への影響は大きいと考える。国での議論を注視し、慎重な対応がなされるよう市長会等を通じ国に對して要望をしていく。

〔市長〕 9月から対象年齢を高校卒業まで拡充した。入院医療費の自己負担の無料も高校卒業までとなり、県内でもトップレベルの制度である。

〔質問〕 政府が進める軽度者の介護保険外しは（すべての高齢者から保険料を徴収しながら、保険サービスを取り上げる）まさに国家的「詐欺」である。佐渡市として、どう対応するのか。切実な問題であり、十分な対策を求める。

〔市長〕 介護保険法施行後、介護給付の根幹にかかわる改正であり、40%と高い高齢化率で低所得高齢者が多い佐渡市への影響は大きいと考える。国での議論を注視し、慎重な対応がなされるよう市長会等を通じ国に對して要望をしていく。

〔質問〕 就学援助制度の新入学児童生徒学用品費の支給は、入学準備金の立て替えをしなくてもいいように入学前の2月から3月に支給するように対応すべきではないか。

〔質問〕 軽度者の福祉用具貸与（レンタル）・購入及び住宅改修の効果をもどるよう認識しているか。

〔高齢福祉課長〕 身体機能の維持、生活機能の向上、自立への意欲促進、生活空間の拡大、介護負担の軽減と状態の維持、改善のため、要介護者の在宅生活維持に必要な給付である。

〔学校教育課長〕 支給の時期は3月という計画である。
〔質問〕 学校給食費の無料化（多子世帯への補助）や高校生の通学・下宿代助成制度化に取り組むべきでは。



介護保険の福祉用具レンタルで借りた歩行者を使って歩く女性

一般質問

広瀬 大海 議員

市民は株主が公約 若者の声を受け止めて



〔質問〕 佐渡の観光を説明する際に「121万人をピークとし、現在は半分以下になつてしまった」という表現をしている。県外は勿論、県内でも観光客がピークの3分の1になつている所が数多くあるが、その自治体では行政や新聞・テレビなどは3分の1になつたという表現をしていない。佐渡にとつて必要以上にマイナスになる表現は控えるようにという、市長の掛け声があれば変えられると思うのだが。

〔市長〕 これからはあえてそのような数字を前面に出すという事はしない。

〔質問〕 私自身を含め、日本国民の多くは「旅行」温泉」というイメージを持っていると思うが、全国的にも種類の豊富な佐渡の温泉がPRされていく。相川地区の温泉を「佐渡金山温泉郷」、

〔観光振興課長〕 温泉を持つている宿泊施設がそのような方向でまとめればPRに對して支援をしていきたい。

〔質問〕 昨年10月、ジェットフォイル（以下、JF）の製造メーカーが今年度中にJFの発注が無いと、今後製造できなくなるという報道があったが、佐渡汽船とどのような話し合いを行なっているのか。JFの製造が難しいのであれば、香港―マカオ間に50kmという大きな橋が完成し、13隻あるJFがそれほど必要なくなるので、それを安く購入する事も検討してはどうか。

〔質問〕 新庁舎建設について所信表明の中で「華美な費用を削減したい」と本庁舎建設の発注を前提にしており、新庁舎を建てないとは言っていないが。

〔市長〕 その指摘は議員の捉え方である。

〔質問〕 新庁舎建設について所信表明の中で「華美な費用を削減したい」と本庁舎建設の発注を前提にしており、新庁舎を建てないとは言っていないが。

〔市長〕 議会对應のミーティング中で、直接受け取れなかったのは申し訳ない。

〔交通政策課長〕 今年5月に佐渡市と新潟県、佐渡汽船の3者で協議を行なっている。JF製造も視野に入れていくが、今の所は資金調達の確

〔市長〕 議会对應のミーティング中で、直接受け取れなかったのは申し訳ない。

〔市長〕 議会对應のミーティング中で、直接受け取れなかったのは申し訳ない。

〔質問〕 議会对應のミーティング中で、直接受け取れなかったのは申し訳ない。

〔市長〕 議会对應のミーティング中で、直接受け取れなかったのは申し訳ない。

〔市長〕 議会对應のミーティング中で、直接受け取れなかったのは申し訳ない。

一般質問

室岡 啓史 議員

毎年3月10日を「心の佐渡市民の日」(仮称)に



【質問】 佐渡の農山漁村の生業を大切に、滞在型観光で時を過ごす『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現に向けて、毎年3月10日を「心の佐渡市民の日」(仮称)とする条例制定を提案する。平成29年度中の世界遺産国内推薦獲得への戦略の一つとしても、佐渡市民や観光のお客様による佐渡金銀山の魅力の再発見、知識の共有、文化施設や温泉施設の無料開放等、郷土愛醸成の一日として「お客様感謝デー」を決行するべきと考える。

【市長】 かなりユニークなアイデアで、おもしろい見方だと思う。メモリアルデーをつくるのは非常にいいことだと思う。どの日が一番ふさわしいのかというところから、島全体で考える必要があると感じる。

【質問】 佐渡準市民制度を「心の佐渡市民」(仮称)へと名称変更するべきではないか。企業版ふるさと納税の活用、一社一村運動の提案先として、首都圏佐渡連合会のみならず佐渡準市民の方へも大いにPRするべきだと考える。

【市長】 一緒になって佐渡を盛り上げていこうという中では、どういう呼称が一番ふさわしいか、イメージもよく、PR性もあるかというのを常に考え、変更する必要性があると思う。

【質問】 佐渡準市民制度を「心の佐渡市民」(仮称)と名称変更するべきではないか。企業版ふるさと納税の活用、一社一村運動の提案先として、首都圏佐渡連合会のみならず佐渡準市民の方へも大いにPRするべきだと考える。

【市長】 食べ残し防止及び地産地消を促進していく中でも良いアイデアの条例だと思う。既に先行している自治体の条例の活用か、佐渡独自で考えた上でやるべきかについて検討をする必要があると思う。

【市長】 かなりユニークなアイデアで、おもしろい見方だと思う。メモリアルデーをつくるのは非常にいいことだと思う。どの日が一番ふさわしいのかというところから、島全体で考える必要があると感じる。

【質問】 文化財・伝統建築の活用策について問う。

【市長】 民泊も含めた特区利用、海外から来た人にとって魅力的な民家があると思うので、真剣に考えていかなければならないと思う。

【質問】 「地域のお酒で乾杯!条例」や、「残さず食



PR用コースター 見本

一般質問

中川 直美 議員

上からの押しつけでなく 市民の声を聞く市政を



【質問】 給水人口約35%が硬度100以上で機器の傷み等に困っているが機器補助や料金軽減等の対策を。

【市長】 基準値以内で補助等は考えないが、指摘された公共施設は調査検討する。

【質問】 庁舎建設の検討結果のB案時点で市民の意見を聞かず最終段階のパブコメで突っ走ろうとしたのか。

【市長】 8月中に市民の声を聞く機会があった。反省している。

【市長】 上からの押しつけでなく、丁寧な説明と住民の声を聞いて、問題意識の共有や代替施設等の説明でしっかり進める。

【質問】 運営費補助廃止で温泉は廃止になる。一方で温泉の存続地域だけ子育てや介護等の支援策を検討するのは公平性に欠ける。

【市長】 国も省エネをすすめている。家庭内の省エネ対策を検討した上で考える。

【質問】 庁舎建設の合併特例債の期限は。

【質問】 見直す「将来ビジョン」に子育て経済負担軽減と高齢者対策を明確にすべき。従来の基本構想の計画で市民と共有しないから市民とのズレが生まれている。

【質問】 庁舎整備主幹 平成30年に完成が必要で来年6月には建設発注が必要。

【質問】 医療介護の改悪の中で、困っている人の声を聞いた対策と計画が必要。

【市長】 市の方向性の大枠計画は必要だが、平成31年度までのこの計画を見直す。子育てや高齢化は重要な視点であり検討する。

【教育長】 その通りだ。

【高齢福祉課長】 そのような形が必要。

一般質問

渡辺 慎一 議員

佐渡ケ島スマートアイランド

構想の提案



【質問】 タブレットを使った窓口サービスは可能かどうか。

【市長】 来訪者が変わつて職員が申請書を作成するため、書類を書く手間が省け発行までの時間短縮になる。乳幼児連れ、高齢者や障害者の皆さんへの負担軽減も十分に期待できる。有効利用も含め前向きにスピーディに検討を進める。基本的には議員指摘の指ナビサービスをイメージしている。

【質問】 農業とICT活用についての取組みは。

【市長】 佐渡市として取り組んでいる事例はないが、畜産振興協議会の取り組みの一つとして牛のCBS、繁殖牛預託施設で発情期や分娩期を知らせるシステムの導入が検討されている。基本的には今後若い世代、世代バランスを整えながら地場産業、一次産業を中心に再生していく

めには、これまでの農法等ではなく、新たな形でのICT

プラス若い世代の着眼力、発想法に加え、長い間培ってきたベテランの知恵、知識等を合体させイメージすることが大事と思つている。

【質問】 観光とICT活用についての取組みは。

【市長】 団体旅行から個人旅行へ形態が変化している。個人客へはSNSが有効と考えられている。現在は日本語と英語版のフェイスブックと中国語向けのウェイボーによる情報発信を行なっている。総合パンフレットの「佐渡さんぽ」はスマホとの連動を検討している。また欧米向けにユーチューブの準備もしている。紙媒体中心からICTを活用した情報発信へと移行していきたいと考えている。

【質問】 医療とICT活用についての取組みは。

【市長】 これについてはご存知のように既に佐渡ひまわり

ネットがあり、病院診療所、介護施設、薬局で双方向のネットワークが構築されている。生活習慣病予防対策にも用いることが可能で、今後佐渡市に見合った活用法を研究し、積極的に導入していく。

【質問】 連合審査では本庁舎に関する簡単な質問をした。30年前7億円で建てた現庁舎はいま建てるといくらからある。8億6千万円弱と答弁したが間違いはないか。

【市長】 あの形そのものを単純に現行に移行して建てた場合のデフレクターを通じて試算だ。そこプラス現状と同じ工法、従来計画の新庁舎と同じ工法というところまで積みますと、この8億6千万円からさらにあれして2桁の億は、10億円を超えるものと考えている。

一般質問

上杉 育子 議員

市保有の温泉施設と

金井温泉の今後について



【質問】 市長は、温泉施設は7施設あるという認識の下で、佐渡市における温泉施設の統一見解・定義付けを

持ち今後の運営方針を詰めるとしているが、具体策はあるのか。

【市長】 プロジェクトチームを結成し、検証を続けた。

「サンライズ城が浜 赤泊温泉」は、サンライズ城が浜という宿泊施設内の風呂なので宿泊施設として位置づけ、「ビューさわた」は、現状隣接の設備等を含め、県・国の補助金等の絡みもあり、当分の間は指定管理契約を続ける。あれは、ただのお湯であるため、入浴施設として位置付ける。

「ワイドブルーあいかわ」は、プール併設の温泉施設で、年間2千500万円の赤字が続く施設を、存

続を前提に検討する事は無理と判断し、廃止。ただ

希望する業者があれば、譲渡の方向で存続の可能性を探る。

「金井温泉 金北の里」は、過去2回の公募、1回の公売にかけたが受け手の

無状況の為、他の温泉施設と一緒に公募の対象にはならない。

4つの基本方針
①温泉施設は民間の企業・団体で運営
原則、公募により選定
②収支損益の穴埋め目的の運営費補助は行わない
③施設維持に係る修繕は、小規模な修繕を除き、市で対応する
④温泉施設の継続運営に向けた協力と支援策を協議する

【市長】 現状2年近く休止していた為、再開に向け相

な経費の発生が予測される。民間委託は不可能と思われが、源泉を含む建物譲渡に希望をつないでいる。

【社会福祉課長】 今年度中は源泉を止めず、有効活用が見込みがあれば民間事業者による運営を検討する。今年度中に、買受希望者が無い場合は、源泉は止める方向で考えている。

【質問】 金井温泉の今後と源泉について考えを問う。



一般質問

金田 淳一 議員

財政の将来像と補助金見直し・事業仕分けについて



【質問】 佐渡市の財政への現状認識と将来像をどう捉えているのか。

【市長】 基金について一定度の積み立てはできていると認識しているが、実質公債費比率は県内15位であり、決して安泰とは思っていない。

【質問】 普通交付税について、今年度は201億円である。特別交付税もあり、予算額よりは多く交付される見通しだが将来はどうか。

【財務課長】 国では交付税団体の財政需要が変化しているという点で見直しを行って、平成31年度の普通交付税については、平成25年12月に計画を立てた額と比較して約30億円多くなると思われる。

【質問】 今までは交付税が予想以上に膨らんで来たので、余裕が有り基金積み立てが出来た。しかし、国の事情に

より各自自治体に厳しい要求を出してきている。行政改革をしないと交付税を配分しないとかであるが、内容を確認しているか。

【財務課長】 トップランナー方式などの成果主義を昨年から求めている。今年の影響額は4、5千万円であり、来年度も何事業かその計算方式が加えられる。それらの現状は認識している。

【質問】 補助金改革と市として行うべき事業の精査は行われているのか。

【市長】 費用対効果の検証と類似事業の整理、新たな財源確保の可能性等、さまざまな視点から現在の事業の方向性を見直し修正したいと考えている。現在取りまとめ中であり、重点施策等の方針を定めた上で11月から予算編成に繋げていきたい。長年つけてきたから来年度もつけると

持つ必要もあると思う。

いう流れは見直したい。

【質問】 島外資本の大型店に市場を奪われて、経営が成り立たないとの悲鳴が各所から聞こえて来る。佐渡市が関係する仕事を、建設工事の例に習い、地域貢献などを評価しながら市内業者で受注する体制を取れないか。

【総合政策課長】 公共事業、委託、物品調達について関係課で議論している。

【市長】 市内業者の受注による有形無形のメリットを研究しなければならぬ。RESEA Sデータによると市内総支出額2千774億円のうち、1千90億円が島外に流出している。このお金を循環させることで、島内業者の競争力も高まっていくとも考えられる。

また、ある程度何年間も行政としても我慢をして島内へ回すのだというような考え方を

持つ必要もあると思う。

一般質問

荒井 眞理 議員

市幹部と議員が中心となった事業の失敗は許されない



【質問】 金井保育園統合は陳情と3千15筆の署名も出され保護者合意なく問題では。

【市長】 地元説明会を9回行い、ほぼ合意できたと報告を受けている。今後も説明を続け合意形成に努力する。

【質問】 説明は的外している。園周辺の交通状況は「非常に危険」と1年以上前に指摘され対策はどうしたか。

【社会福祉課長】 今週1週間調査をお願いした。
【質問】 交通安全運動中の調査が有効か。人目が多いにも拘らずある朝は渋滞で反対車線に入る車が3台もあり、市民は納得できない。

【社会福祉課長】 有効である。
【質問】 公人が関わった「佐渡しままーと」廃業に係る補助金等返還は果たされたか。

【市長】 「佐渡しままーと」の

全株主を回り説明の上お願いしたがほとんど理解を得られなかった。当時の佐渡市幹部及び市議会議員が中心となり運営に関与していたことは明らかで、その道義的責任は重大だと考える。

【質問】 5年の約束の補助金を使って2年で廃業とは要綱違反で、民間事業者なら全額返還を求めるところだ。長老議員が指摘しているが、道義的責任を取らない業者は、社会貢献を謳って参加する市の指名競争入札から外したらどうか。

【市長】 主導的に関わった株主と、依頼されて出資しただけの株主とがあり、一緒には考えられない。被害者の感覚の株主も多い。

【質問】 どう決着をつけるか
12月議会でもた質疑する。
前市長はビッグフィッシャー事件の告発文を怪文書とし

たが、今回なぜこれも外部監査に渡したのか。

【市長】 関係性のあるものは全てを渡し、調査依頼した。
【質問】 告発文には、職員のパソコンも警察に押収され、書類の日付の改ざんが判つたとあるが事実か。
【総合政策課長】 怪文書の内容と事実は検証していないが日付改ざんは事実である。
【質問】 加工場はほとんど稼動していないと聞く。一刻も早くやめるべきでは。
【市長】 生産量が計画通りではないが全ての判断材料が揃うまでは続けるしかない。
【質問】 この件も12月議会でもた質疑する。
建設課職員の不適正事務処理が明るみになるのに2年もかかったのはなぜか。
【総務課長】 課長は退職、係長は免職の実態だった。